EA520MA－5（ハンドトラック）取扱説明書

このたびは当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
商品を安全にご使用頂きますためにも取扱説明書をよくお読み頂きますようお願い申し上げます。

●仕　様

・耐荷重　225kg
※積載均等耐荷重は商品自体の耐荷重であり、積載物を動かすのは人力の範囲です。
・自重　12．2kg

●各部の名称

●部品内容

フレーム　1
フレームガイド　2
ホイールブラケット　2
ボルト（フレーム用）　4
ナット（フレーム用）　4
荷台　1
荷台ガイド 2
荷台用ボルト 4
荷台用ナット 4
車輪　2
車軸　1
ロールピン　2
割ピン　2
ワッシャー　4
クライマー　2
1/4”-20クライマー用ボルト　2
1/4”-20クライマー用ナット　2
5/16”-18ブラケット用ボルト　2
5/16”-18ブラケット用ナット　2
ハンドル　2（右、左）
ハンドルカバー（ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ）2
ハンドルガード（長）　1
ハンドルガード（短）　1
1/4”-20ボルト（ハンドル用）　4
1/4”-20ナット（ハンドル用）　4

＊＊＊ご注意＊＊＊

① 組み立てる前に必ず部品の確認をしてください。
② 組み立てるにはスパナやドライバーをご用意ください。
③ 組立中にけがをしないよう手袋を装着する事をおすすめします。
④ 完成後は軸のずれやフレームの歪みがないかを確認してください。
⑤ 完成後はネジのゆるみがないようしっかりと締めてある事を確認してください。
⑥ 耐荷重以上の物を載せないでください。

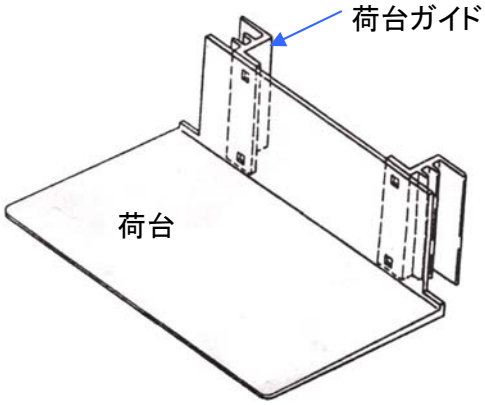
組立順序は下記の順序で行ってください。

① 荷台部分
② フレーム部分
③ 車軸部分
④ クライマー部分
⑤ 車輪部分
⑥ ハンドル部分

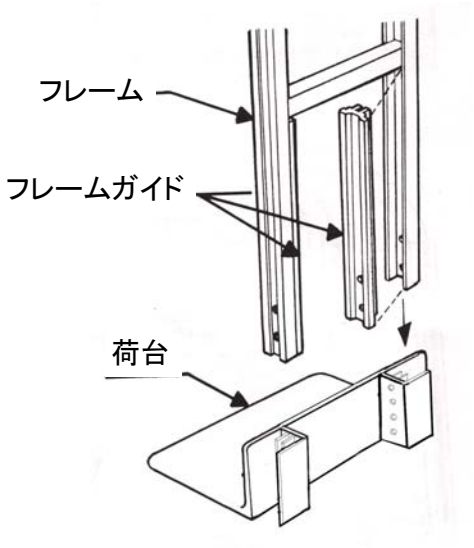
① 荷台部分を組み立てます。

荷台ガイドを荷台の後ろに取り付けます。

ボルトの穴にぴたりとはまるようにしてから
荷台用のボルトとナットで止めます。
〔フレームに取付けるまでは完全に
ネジを締めこまないでください。〕



②フレームを組み立てます。



フレームにフレームガイドをはめ込みます。

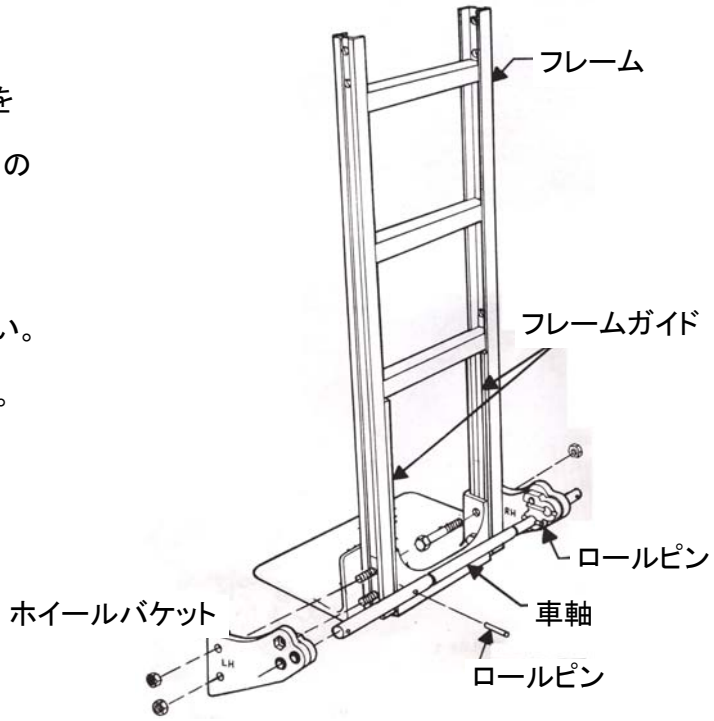
ボルト穴を間違えないようにしてフレームの内側の左右に
はめます。

そのまま、①で作った荷台に差し込んでください。

③ 車軸部分の組立

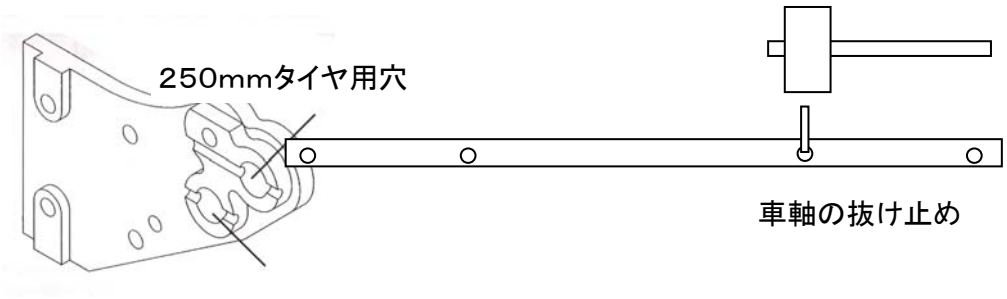
②で組み立てたところにホイールバケットを
装着します。
ホイールバケットに左側（LH）、右側（RH）の
表示が有りますのでよく確認して下さい。
ホイールバケット用のボルトとナットで
フレームに固定します。

車軸をホイールバケットに差し込んで下さい。
ホイールバケットには車軸用の穴が2ヶ所
有りますので**上**の穴に差し込んでください。



（③続き）

車軸を差し込んだらロールピンを2ヶ所木づちなどで差し込んで下さい。

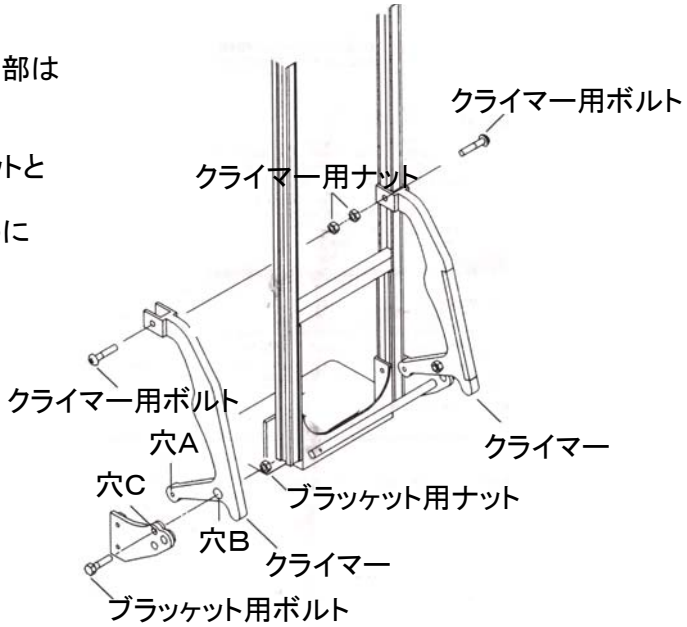


④ クライマー部分を取り付けます。

クライマーの上部はフレームにクライマーの下部はブラッケットに取り付けます。

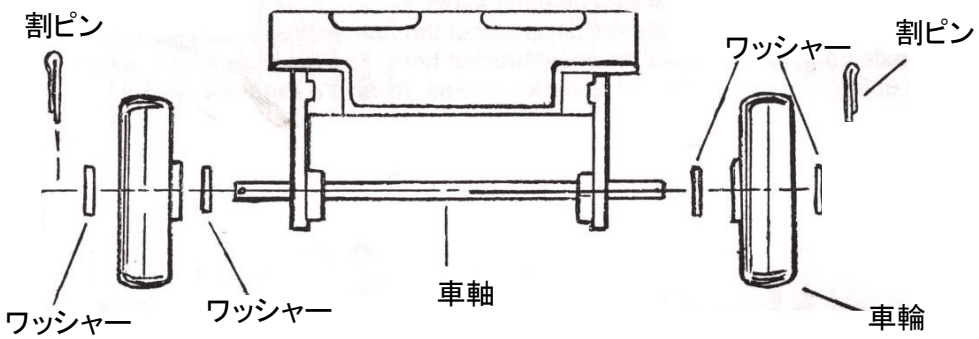
クライマーをフレームに取り付けるボルト、ナットとクライマーをブラッケットに取り付けるボルト、ナットの2種類有りますので、まちがわないようにしてください。

〔 クライマーの下部の取付けのさいに、穴Aと穴Cにボルトを通して下さい。 〕



⑤ 車輪を取り付けます。

下図参照にてはめ込む順番を間違わないようにして下さい。
ワッシャーは状況に応じてはめる枚数を変えて下さい。
車軸の両端に有る穴に割ピンを刺しこみぬけないように曲げます。



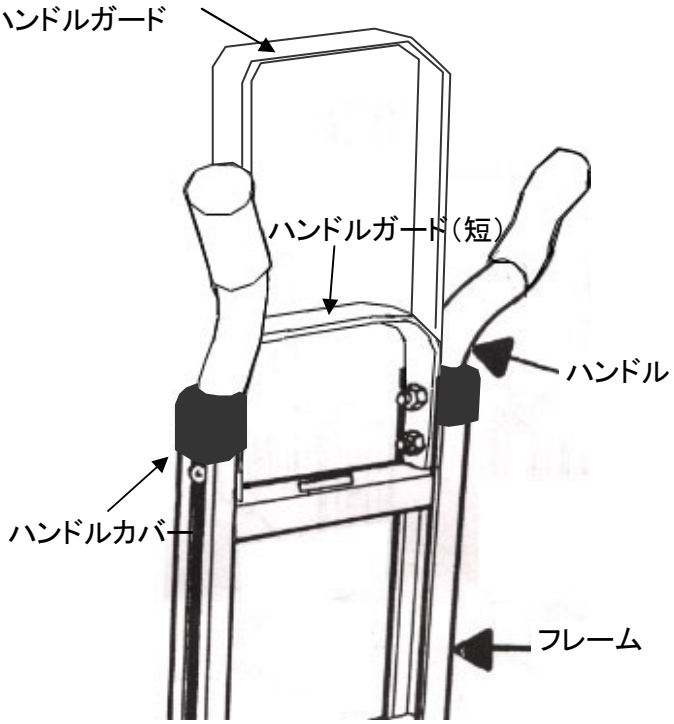
⑥ 最後にハンドル部分を取り付けます。
フレーム上端にハンドルカバーを差し込みます。

次に、ハンドルをフレームにはめ込みます。

左右を確認して下さい。

ハンドルガード（長、短）をハンドルのさらに
内側に取付け、ボルト穴をそろえます。

フレームの外より4ヶ所をボルトと
ナットで締めて下さい。



⑦ 全てのネジを締め直しゆるみがないかを確認します。

注）タイヤの空気が抜けた場合はバイク用の空気入れで充てんしてください。
タイヤの空気が減った時は横からの衝動で空気がもれる場合があります。

株式会社 エスコ
本社／〒550-0012 大阪市西区立売堀3丁目8番14号
TEL（06）6532-6226　FAX（06）6541-0929